

長 坂

玄海に 波音高く

平戸市立生月中学校
学校だより 第16号
(令和5年11月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

ふるさと生月の「海の幸」を実感！ ～ 第1学年 水産教室が開催されました ～

11月7日(火)、1年生を対象に「水産教室」が開催されました。この取組は、「郷土の産業を理解し、関心を深める」こと、「魚の調理方法を実践することにより、食について自ら考える」こと、さらには「地域の方にご指導いただくことに感謝の気持ちをもつ」ことなどを目的に、毎年、開催しています。

当日は、東北漁業士会、館浦漁協、東北水産業普及指導センター、平戸市水産課の皆さんを講師にお迎えして、シイラやアジ、イカなど、地元でとれた水産物を利用して、魚のさばき方や食材を生かした料理作りの体験学習が行われました。また、前日には、「出前講座」として、市水産課の方から平戸市の水産業の現状などについてのお話もいただきました。子ども達は、魚の調理方法を学ぶとともに、地域の水産物の豊かさや、生き物の命をいただくことのありがたさなど、たくさんのことを学ぶことができたと思います。

ご協力いただいた関係機関の皆様、本当にありがとうございました。



『私のペースで しおりは進む』 ～ 本校の「読書週間」に係る取組が行われました ～

本校の読書週間の取組が、10月末から11月中旬にかけて行われました。この取組は、「読書の楽しさや素晴らしさを知ることで、読書への興味や関心を高め、すすんで本を読もうとする意欲を育てる」ことを目的として、毎年、行っています。今年度も、生月町内の読み聞かせボランティア団体の「紙風船」の皆さんと本校職員による「読み聞かせ」や、国語科の小楠先生の指導による「ピブリオバトル(自分が読んで面白いと思った本を紹介し合うゲーム感覚の書評合戦)」が各学級で実施され、また、各家庭では、家庭読書として生徒による「絵本の読み聞かせ」が行われるなど、期間中、様々な取組が行われました。

11月9日(木)には、生徒会の学習図書委員会の企画・運営で「読書集会」が開催され、『ミック』という絵本を使って、学年対抗のリレー形式で、どの学年が一番早く絵本の中に隠された課題を「ミック」られるかという、頭も身体も使った楽しいイベントが行われました。読書集会を企画・運営してくれた学習図書委員長の岳田唯花さんをはじめ、前期及び後期の学習図書委員の皆さん、お疲れさまでした。そして、ありがとう。

なお、本校では、「登校したら、すぐ読書」を合言葉に、毎日、朝の読書を実施するとともに、毎週木曜日のメディコンデーなどに、「家族での読書」を奨励しています。保護者・ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。



生徒有志によるボランティア活動(その2) ～ 地域のイベントに協力しました! ～

11月11日(土)に開催された「灯台マルシェ」と、19日(日)に開催された「いきつき勇魚まつり」に、本校生徒が運営ボランティアとして協力しました。生月中学校は、日ごろから地域の方々のご協力を得て、様々な特色ある教育活動を行うことができています。そこで、中学校としても、「ふるさとへの感謝と貢献」や「生徒自身の主体性の育成」などを目的に、生徒の地域行事やイベントへの参加・ボランティア活動を推奨しています。今回、たくさんの生徒の皆さんが、運営ボランティアとして協力してくれたことを、大変うれしく思います。

なお、現在、12月16日(土)に開催される公民館主催の『キラキラフェスティバル』の運営ボランティアの募集があります。例年どおり、多くの生徒の皆さんが協力してくれることを期待しています。